

サッカーJ2 レノファ山口のホームタウンに

サッカーJ2、レノファ山口のホームタウンとして周防大島町も参加してほしいと、2月20日、同クラブの河村孝社長が町を訪問し、椎木町長へホームタウン化への参加要請をされました。

これは、まちを挙げてチームを応援していこうというもので、レ

ノファ山口が県内全市町のホームタウン化を目指し取り組みが進められています。

このホームタウン化への参加の要請に町側も快諾。椎木町長は、現在町が交流人口の拡大を目指し取り組んでいるスポーツイベントやスポーツ合宿などへの効果にも期待を寄せ、「山口県で唯一のプロサッカーチームであり、できる限り応援したい。J1を目指してがんばってほしい」とエールを送りました。河村社長も「山口県のクラブとして全国発信したい。地域貢献なども一緒に考えていきたい」と抱負を述べました。

周防大島町などのホームタウン化は3月に行われるJリーグの理事会で承認される見通しとなっており、今後、様々な形で連携しチームと町を盛り上げます。

▲レノファ山口の河村社長(左)と握手する椎木町長

表彰

B & G 海洋センターが10年連続特Aで表彰

周防大島町B & G 海洋センターが10年連続で最高評価の特Aを獲得したとして、1月24日、笹川記念館(東京都)で行われた、第9回B & G全国サミットにおいて表彰されました。

B & G財団では、全国の海洋センターの活動状況や利用状況などを毎年評価しており、本町の体育館(西屋代)・プール(西三浦)・艇庫(横見)で行う事業等が高い評価を受けています。

宝くじの助成金を活用しました

このたび、小積自治会では「コミュニティ助成事業」を活用し、自治会内に作業所を整備しました。

作業所は、地域の祭りやイベントなどに使用することを目的に整備されたもので、木造平屋建96.9㎡。屋内は主に作業スペースとなっており、地区内外の住民の交流を図る地域の拠点として活用されます。

「コミュニティ助成事業」は(一財)自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に行われています。



▶B & G財団の梶田功会長(左)から表彰を受ける椎木町長



▶完成した小積作業所

町職員の異動

(2月28日付)

【退職】

健康増進課 杉野祐香